



# EAnetwork

先日、千鳥ヶ淵へお花見に行ってきました。夜桜は幻想的で大変美しかったです。この桜の木が、老齢化や環境の変化により年々、木の勢いが弱くなっているそうです。桜は一度枯れてしまうと同じ場所には生育しにくく、現在の桜の名所が減少してしまう可能性もあるとのこと。私たちに春の喜びを与えてくれる桜の木をいつまでも大切にしていきたいものです。

## ☆ Environmental column ☆

### 築地移転と豊洲の土壤汚染

今年（平成18年）4月8日は東京都知事選挙があります。その論点の一つに「築地市場の豊洲移転」が挙げられています。石原知事の発言には“前から決まっていたことを実現するので、いまさら反対されても迷惑だ”というニュアンスが感じられます。移転に反対する意見も決して現状の築地市場を“良し”としているわけではなさそうです。築地市場は昭和10年に開場されてすでに70年以上も経っています。施設の老朽化は否めませんし、狭くもなっています。雨漏りも激しく、雑然として危険でもあります。しかし、それが市場の勢いを表している面もあります。場外市場も含めると移転は簡単ではなさそうです。

一方、移転予定の豊洲は東京ガスの跡地です。10年前ごろから東京ガスは積極的に土壤汚染の調査や修復措置を実行していましたが、平成15年の土壤汚染対策法の施行以前であり、平成11年の土壤・地下水汚染に係わる調査・対策指針および運用基準の制定前でもあります。何を掘り所にしていたかといいますと、“土壤環境基準”および“地下水環境基準”であると思われます。これらの基準に適合する対策は現在の土壤汚染対策法の考え方にも適合する技術レベルです。汚染のある範囲は2mまでの土壤入れ替えを行ったと報道されていました。少なくとも土壤汚染対策法が要求しているレベルには適合していると思われます。

移転反対の掘り所は、土壤汚染のある豊洲は食の安全上問題がある、という点にあります。心情的には私も同調します。しかし、市場で扱う魚が汚染された土壌と接触する可能性は殆どありません。感情論は別として科学的かつ合理的に考えれば、適正な修復措置が実行されていれば問題はない、と考えます。地下から揮発性の有害物質が上昇してくるという意見もありますが、土壤ガス調査の方法に“グラウンドエアシステム”というものがあります。これは専用の装置を地表にセットし、装置内部を真空状態にして地下から揮発性ガスを吸引して、分析にかけるというものです。これによれば目に見えるようなひび割れのないコーティングしたコンクリート床面からでもガスが吸引できるそうです。つまり、床面が適切にコーティングされていれば、通常の気圧の状態では地下のガスが地上に揮散する可能性は極めて低い、と考えられます。不安に対しては単に安全だと口にするだけでなく、実態を調査して安全を証明することが求められます。安全を証明できなければ必要な対策を適切に実行して、安全にすることが必要です。特例として鮮魚市場の安全基準を検討することを考えてもいいと思います。

築地市場の当事者が豊洲移転の反対理由に土壤汚染を掘り所にするのは、“溺れる者は藁をも掴む”の心境だと思います。しかし、それでは“溺れるといけないから海水浴は止めましょう”といっているようなものです。土壤汚染に係わらずリスクを適正にかつ冷静に把握して、そのリスクを低減する方法を、英知を集めて検討し、必要に応じて実行することが必要ではないでしょうか。都知事選挙のために土壤汚染の危険性が感情的に強調されることは、土壤汚染の本質を間違えた姿にしてしまいます。

## ☆JFMA フォーラムが閉幕しました☆

アースアプレイザルは2007年3月21日～23日にパシフィコ横浜で開催されました第1回日本ファシリティマネジメント大会『JFMA FORUM 2007』に出展致しました。入場者数は累計18,010名でした。(JFMA HP 公表)

ファシリティマネジメントの示す広い領域にふさわしく、展示会では、ビルメンテナンス(清掃・エレベータの保守・警備システム等)、情報セキュリティ、防災対策、オフィス環境の向上、資産管理から財務・品質・供給評価など様々なサービスの形態が多分野の企業により展示、提供されていました。

アースアプレイザルは、主として不動産投資取引の際に問題となる土壤汚染・アスベストリスクについて、それらの定量的調査から管理・対策まで一貫したサービスをご提供する中でその有効性をご説明申し上げて参りました。今回のJFMA フォーラムでは既存の不動産においても、環境面における取組みが、結果として、所有される不動産の資産価値向上につながり、同時に安心・安全な不動産運営管理につながるということをご理解頂けたのではないかと考えております。

今回のEAnetworkいかがでしたでしょうか。このニュースレターへの感想や土壤汚染に関するご質問など、お気軽にFax または [news@earth-app.co.jp](mailto:news@earth-app.co.jp) までご連絡ください。

このEAnetworkは、過去に弊社セミナーにご参加いただいた方及び弊社へ調査のご依頼を頂いたお客様にお送りしております。以後メーリングリストでの配信希望の方は、下記にチェックの上FAXにてご返送、または [news@earth-app.co.jp](mailto:news@earth-app.co.jp) までご連絡ください。

弊社の個人情報保護に関する基本方針は、弊社ホームページに掲載しております(<http://www.earth-app.co.jp/privacypolicy.htm>)。個人利用に関して同意いただけない場合、また、今後配信を希望されない方は、お手数ですが同様にご連絡ください。基本方針に基づき、責任を持って登録を削除させていただきます。

株式会社アースアプレイザル

編集者：藤井史枝

伊藤祥子

TEL: 03-5298-2151

FAX 03-3252-5411

会社名

お客様名

次回の配信から、メーリングリストでの配信希望 e-mail:

次回の配信を希望しない

コメント

アースアプレイザルグループおよび業務提携先

札幌アースアプレイザル(北海道)、中央開発・基礎地盤コンサルタンツ・ジオテック・りんかい日産建設・協和地下開発・神港サービス(関東)、アイエーシー(神奈川)、細野建設(長野)、トーエネック・フルエング・東邦地水(中部)、建設基礎調査設計事務所(静岡)、阪神測建(関西)、三協エンジニア(奈良)、エイトコンサルタント(岡山)、復建調査設計(広島)、藤井基礎設計事務所(島根)、日本地研・アースアプレイザル九州(福岡)、リサイクルワン、グリーンフィールドEA(大阪)